

2024年4月25日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「2024年度新入社員の意識調査・理想の上司」調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(岐阜県大垣市郭町2-25 社長 青木義実)は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご案内します。当社では、OKB 総研主催の新入社員研修会の受講者を対象に、「新入社員の意識調査」を毎年実施しています。

〈調査結果のポイント〉

■ 理想の上司は、「内村光良」が全体で初の1位(敬称略)

「あなたの理想の上司について著名人・有名人に例え1人だけお答え下さい(自由回答)」と尋ねたところ、「内村光良」が男女問わず支持を集め、全体ランキングでは初めてトップに輝いた。

新入社員全体

順位		支持率(%)
1位	(4) 内村光良	5.5 (4.0)
2位	(2) 大谷翔平	4.9 (5.2)
3位	(1) 水ト麻美	4.7 (6.1)
4位	(3) 明石家さんま	3.0 (4.9)
5位	(7) 櫻井翔	2.5 (2.8)
	(5) 志村けん	2.5 (3.4)
	(17) フリーザ	2.5 (1.2)
	(8) ムロツヨシ	2.5 (2.1)

(注) 敬称略。括弧内は2023年度の順位、支持率。

男性新入社員

順位		支持率(%)
1位	(3) 大谷翔平	7.0 (5.3)
2位	(3) 内村光良	6.0 (5.3)
3位	(6) フリーザ	4.0 (2.4)
4位	(2) 明石家さんま	3.0 (5.9)
	(1) 志村けん	3.0 (6.5)
	(18) ムロツヨシ	3.0 (1.2)

(注) 敬称略。括弧内は2023年度の順位、支持率。

女性新入社員

順位		支持率(%)
1位	(1) 水ト麻美	10.6 (12.0)
2位	(7) 内村光良	5.0 (2.5)
3位	(10) アンミカ	4.3 (1.3)
	(3) 櫻井翔	4.3 (5.7)
5位	(2) 天海祐希	3.7 (6.3)
	(26) 渡辺直美	3.7 (0.6)

(注) 敬称略。括弧内は2023年度の順位、支持率。

■ 将来就きたい地位は「一般社員志向」が「スペシャリスト志向」を上回りトップに

「将来どんな地位に就きたいか」と尋ねたところ、1位は「一般社員志向」で28.1%、次いで「スペシャリスト志向」が24.9%、「管理職志向」が20.3%となった。「スペシャリスト志向」は低下傾向、「一般社員志向」は上昇傾向にあり、今回初めて「一般社員志向」が「スペシャリスト志向」を上回った。

■ 上司・先輩との人間関係は「ほどほど派」が約6割でトップ

「上司・先輩との人間関係はどのように考えているか」と尋ねたところ、「ほどほど派」が59.8%で最も高く、次いで「積極派」が29.7%となった。

■ 働く目的は「自分の成長のため」がトップ

「あなたが働く目的は何か」と尋ねたところ、1位は「自分の成長のため」で61.4%、次いで「収入を得て安定した生活を送りたい」が56.4%、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」が47.3%となった。

■ 女性の7割以上が「短時間勤務制度」・「在宅勤務」・「フレックスタイム」を利用したいと回答

利用したい働き方について尋ねたところ、女性において、「テレワーク(在宅勤務)」では74.3%、「フレックスタイム(時差出勤等)」では72.8%、「短時間勤務制度」では80.1%が「利用したい」と回答しており、男性を上回っている。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋証券取引所・金融記者クラブ

【本件に関するお問い合わせ先：(株)OKB総研 調査部 梅木 風香 Tel.0584-74-2615】

調査の概要

調査対象	岐阜県・愛知県等の企業・団体の新入社員
調査期間	2024年3月29日～4月5日
調査方法	OKB総研主催の新入社員研修会（WEB,集合型）の受講者(801名)に無記名方式で実施
有効回答者数	438名(有効回答率 54.7%)
回答者属性	下表の通り

		全体	男性	女性	回答しない
有効回答者数		438名	243名	191名	4名
平均年齢		21.6歳	21.7歳	21.5歳	22.5歳
最終学歴	高校卒業	27.6%	26.3%	29.8%	0.0%
	専門学校卒業	13.2%	11.1%	15.7%	25.0%
	短期大学卒業	5.9%	4.5%	7.9%	0.0%
	4年制大学卒業	50.0%	53.5%	45.5%	50.0%
	その他	3.2%	4.5%	1.0%	25.0%
居住地	岐阜県	48.9%	49.4%	47.6%	75.0%
	愛知県	42.2%	42.4%	42.4%	25.0%
	三重県	1.1%	1.2%	1.0%	0.0%
	滋賀県	1.1%	1.2%	1.0%	0.0%
	その他	6.6%	5.8%	7.9%	0.0%
業種	製造業	32.0%	33.3%	30.4%	25.0%
	卸売業、小売業	18.5%	18.1%	18.8%	25.0%
	建設業	17.8%	21.0%	13.6%	25.0%
	医療・福祉	8.7%	7.4%	10.5%	0.0%
	サービス業	7.3%	4.1%	11.0%	25.0%
	その他	15.7%	16.1%	15.7%	0.0%

(注) 端数を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合がある（以下同じ）。

今年の新入社員像

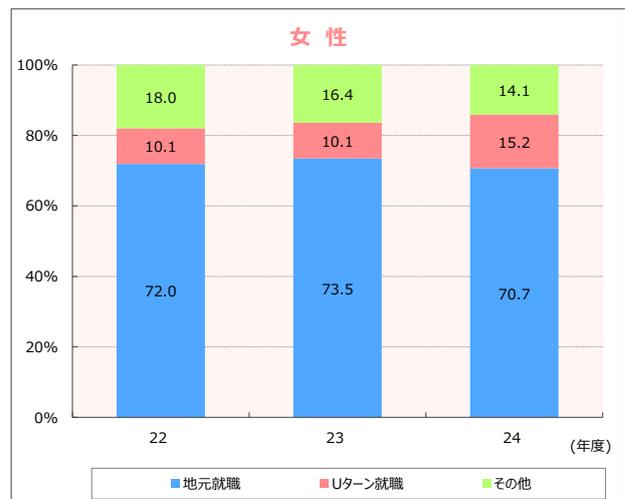
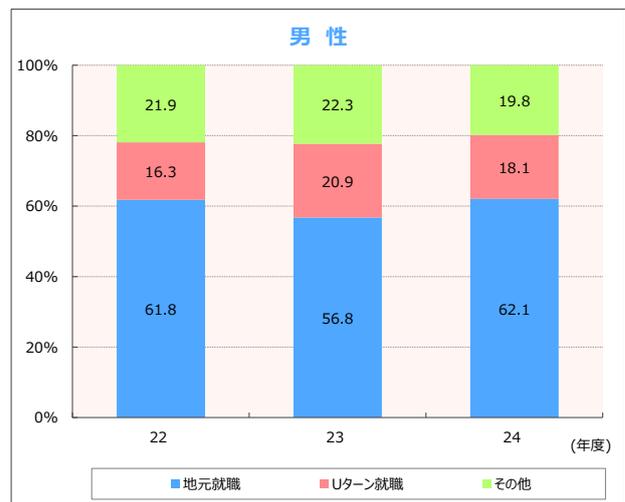
(1) 地元就職とUターン就職

…「地元就職」が65.3%

「あなたは地元就職・Uターン就職・その他のうち、どれにあてはまりますか」と尋ねたところ、「地元就職」が65.3%で最も高く、前回調査(2023年度)の64.8%からほぼ横ばいだった。「Uターン就職」は17.1%だった(図表1)。

男女別に見ると、地元就職は男性が62.1%、女性が70.7%だった。Uターン就職は男性が18.1%、女性が15.2%だった。

図表1 地元就職とUターン就職



(2) 就職先の選択基準

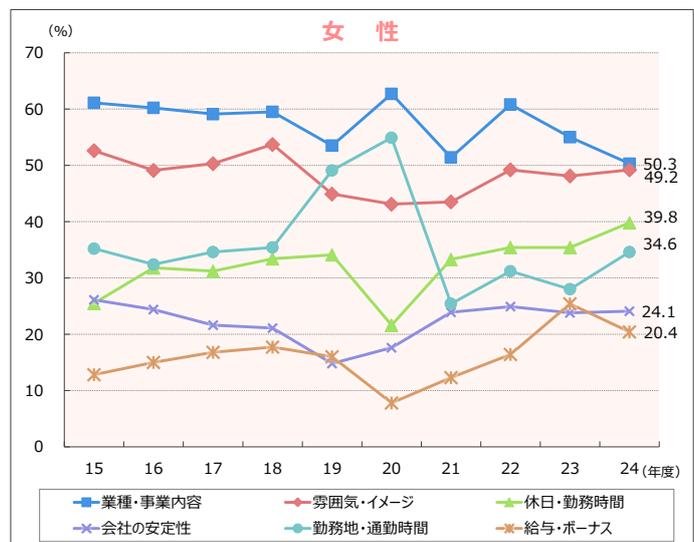
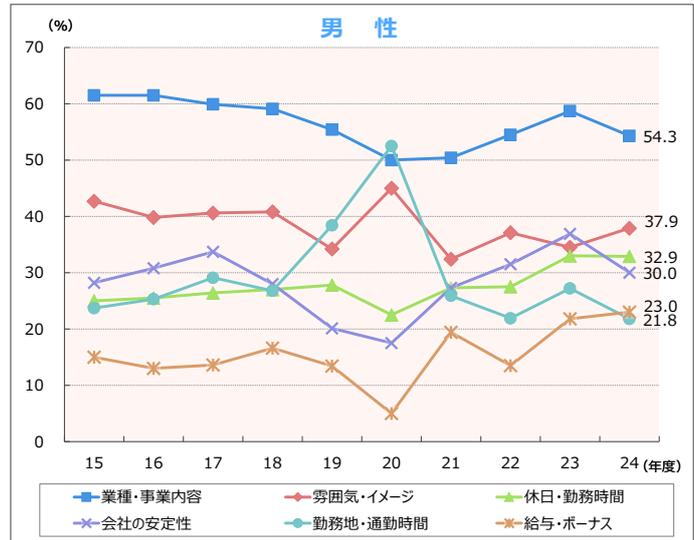
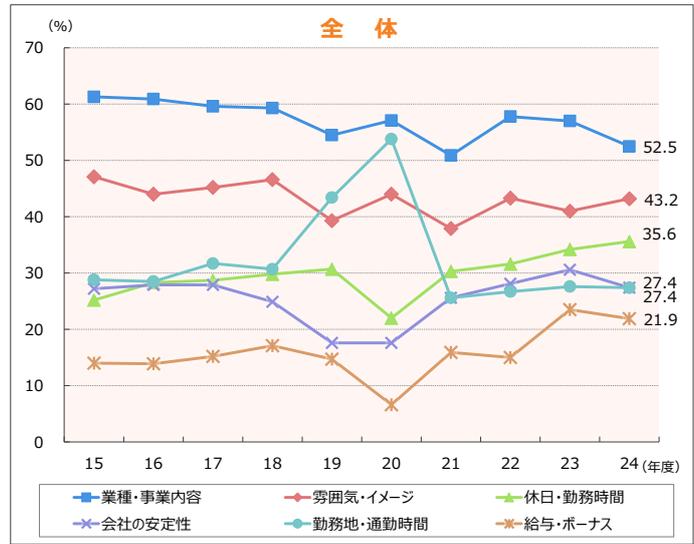
…「休日・勤務時間」が上昇傾向

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「業種・事業内容」(52.5%)、2位は「雰囲気・イメージ」(43.2%)、3位は「休日・勤務時間」(35.6%)となった(図表2)。

ここ10年の傾向を見ると、「業種・事業内容」は首位を維持しているものの、緩やかに低下している。一方、「休日・勤務時間」は、振れを伴いながらも緩やかな上昇傾向にある。

男女別に見ると、女性は男性に比べて「雰囲気・イメージ」は11.3ポイント、「勤務地・通勤時間」は12.8ポイント上回っている。

就職先の選択基準(上位6項目)の推移



図表2 就職先の選択基準 ※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	業種・事業内容	52.5%	▲4.5
2	雰囲気・イメージ	43.2%	+2.2
3	休日・勤務時間	35.6%	+1.4
4	会社の安定性	27.4%	▲3.2
5	勤務地・通勤時間	27.4%	▲0.2
6	給与・ボーナス	21.9%	▲1.6
7	自分自身の成長	15.5%	+2.3
8	福利厚生	14.8%	+4.4
9	社員・人事担当者の対応	14.8%	+2.1
10	会社の将来性	11.6%	▲1.8
11	会社の規模	6.8%	+0.7
12	親または学校の推薦	5.9%	▲2.5
13	SDGsなど社会貢献意識の強さ	2.3%	+1.8
14	会社の知名度	1.6%	▲1.4
15	柔軟な働き方(テレワークなど)	1.4%	+0.1
16	その他	1.6%	+0.8

※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(3) 将来就きたい地位

…「一般社員志向」が初めてトップに

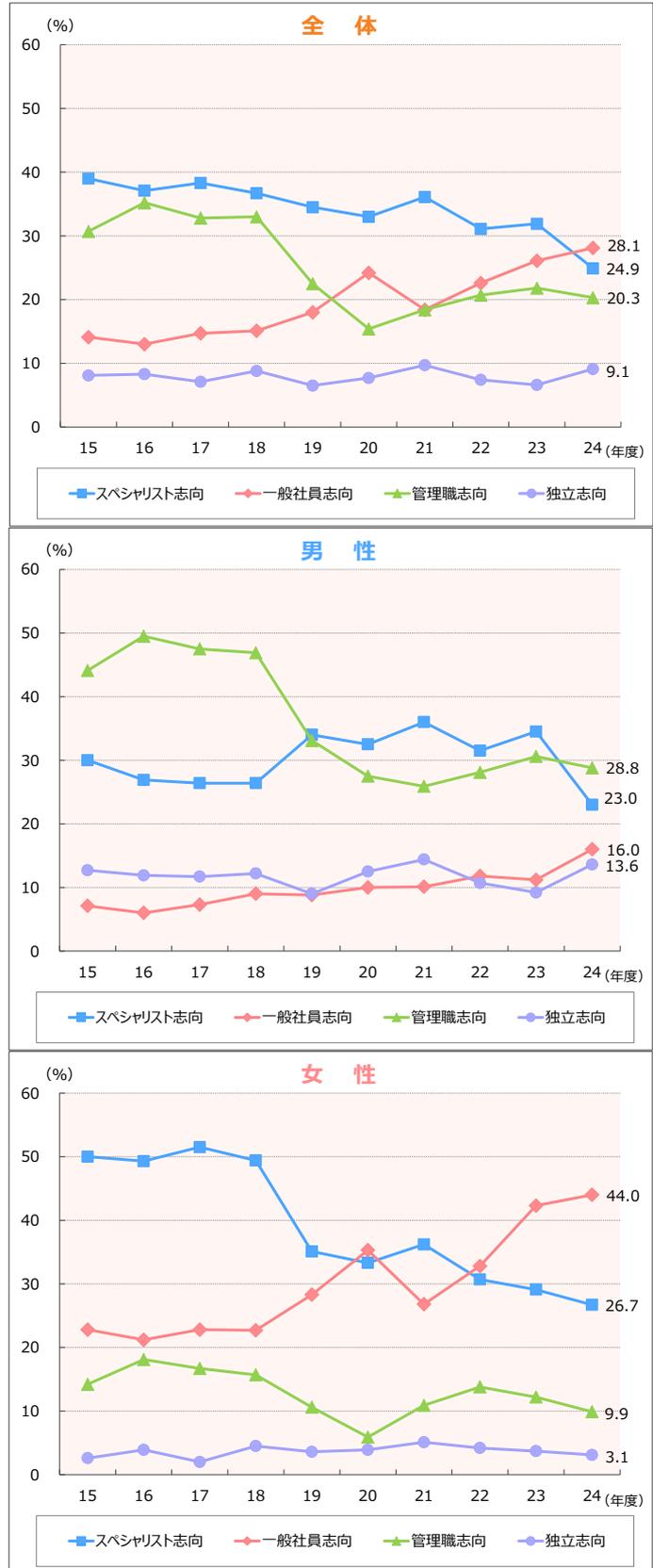
「あなたは将来どんな地位に就きたいですか(1つだけ選択)」と尋ねたところ、1位は「一般社員のままだがよい(以下:一般社員志向)」で28.1%、次いで「特殊能力・技能のあるスペシャリスト社員(以下:スペシャリスト志向)」が24.9%、「部長・課長・主任などの肩書のある管理職(以下、管理職志向)」が20.3%となった(図表3)。

ここ10年で「スペシャリスト志向」は低下傾向、「一般社員志向」は上昇傾向にあり、今回初めて「一般社員志向」が「スペシャリスト志向」を上回り、1位となった。

男女別に見ると、男性は「管理職志向」が28.8%で最も高くなった。次いで「スペシャリスト志向」が23.0%で、前回から11.5ポイント低下し、「管理職志向」と順位が入れ替わった。

女性は「一般社員志向」が44.0%と最も高く、次いで「スペシャリスト志向」が26.7%となった。「スペシャリスト志向」の低下傾向および「一般社員志向」の上昇傾向は、女性において顕著となっている。

図表3 将来就きたい地位(わからないを除いた項目)



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(4) 上司・先輩との人間関係

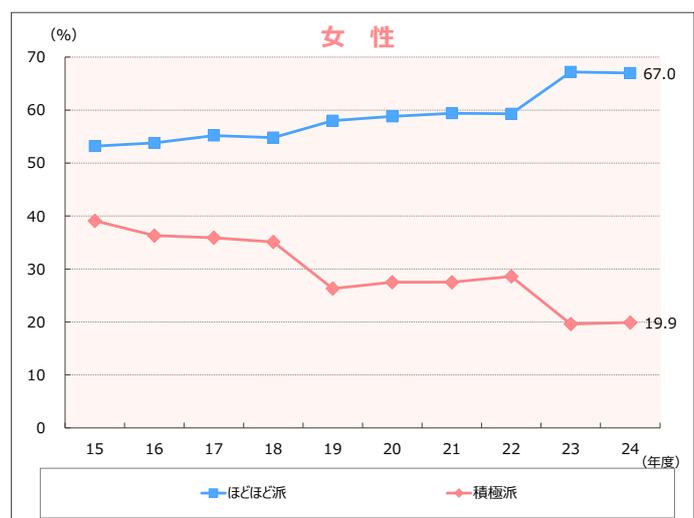
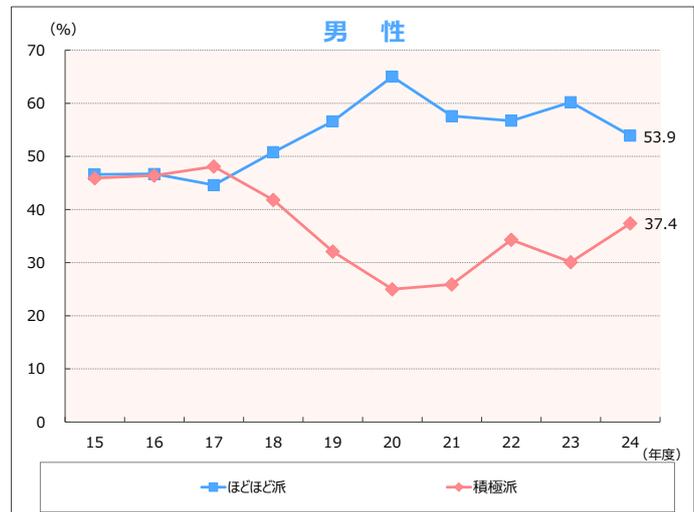
…「ほどほど派」が約6割でトップ

「上司・先輩との人間関係はどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「義理を欠かない程度（以下：ほどほど派）」が59.8%で最も高く、次いで「プライベートも含め積極的に（以下：積極派）」は29.7%となった（図表4）。

男女別に見ると、男性は「ほどほど派」が53.9%で前回から6.3ポイント低下した一方、「積極派」は37.4%で前回から7.3ポイント上昇し、両者の差はやや縮小した。

一方、女性は「ほどほど派」が67.0%、「積極派」は19.9%で、いずれも前回からほぼ横ばいとなった。

図表4 上司・先輩との人間関係（上位2項目）



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(5) 入社の際の不安

…「上司・先輩との人間関係」がトップ

「入社にあたって不安に思うことは何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「上司・先輩との人間関係」(60.3%)、2位は「業界知識・業務内容」(53.7%)、3位は「社会常識・マナー」(50.0%)となった(図表5)。

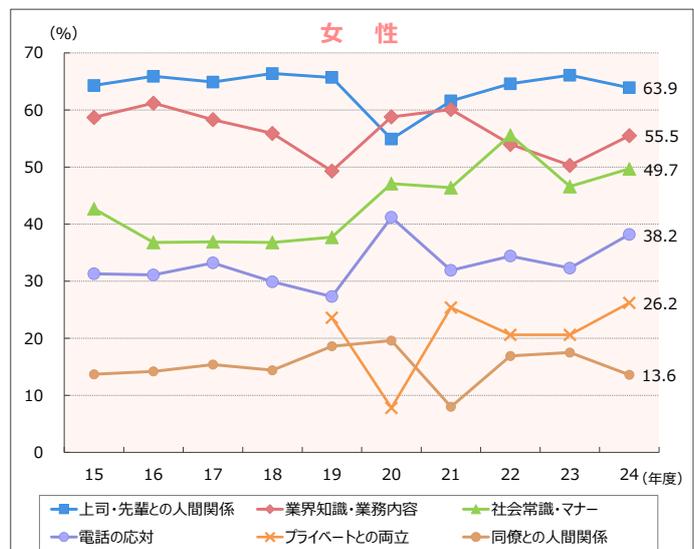
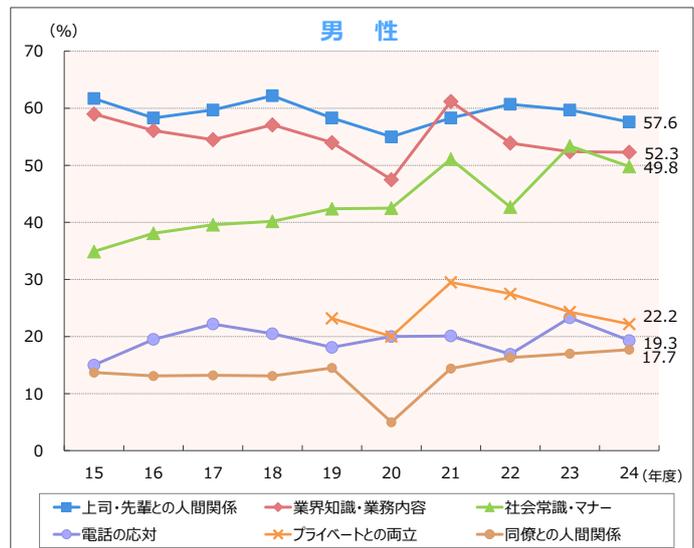
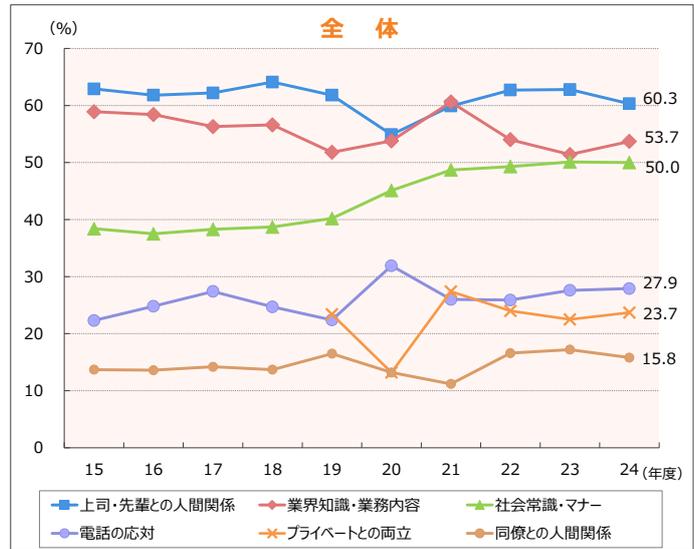
男女別に見ると、「電話の応対」は女性が男性を18.9ポイント上回っている。

また、ここ10年の傾向を見ると、「社会常識・マナー」は男女ともに振れを伴いながらも上昇傾向にある。

図表5 入社の際の不安 ※複数回答

順位	項目	回答割合	前回差
1	上司・先輩との人間関係	60.3%	▲2.5
2	業界知識・業務内容	53.7%	+2.3
3	社会常識・マナー	50.0%	▲0.1
4	電話の応対	27.9%	+0.3
5	プライベートとの両立	23.7%	+1.2
6	同僚との人間関係	15.8%	▲1.4
7	規則的な生活	15.5%	+3.9
8	パソコン・オフィス機器の使い方	12.6%	▲0.1
9	機械の使い方	12.1%	▲1.1
10	健康	11.2%	+0.3
11	その他	0.2%	▲0.6

入社の際の不安(上位6項目)の推移



※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(6) 働く目的

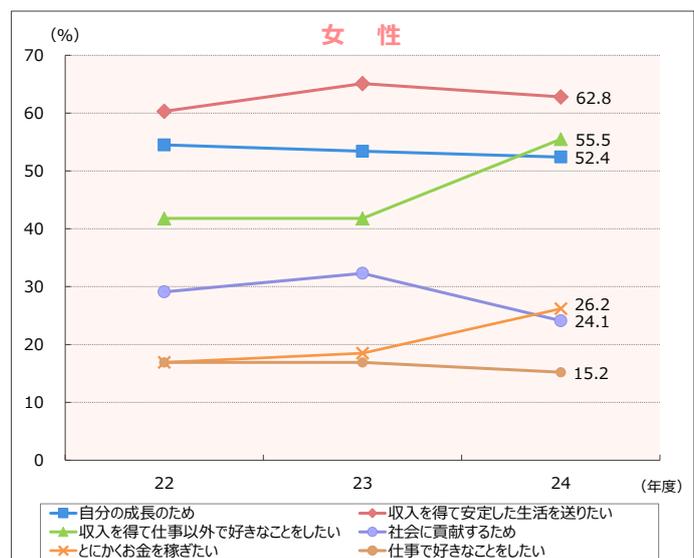
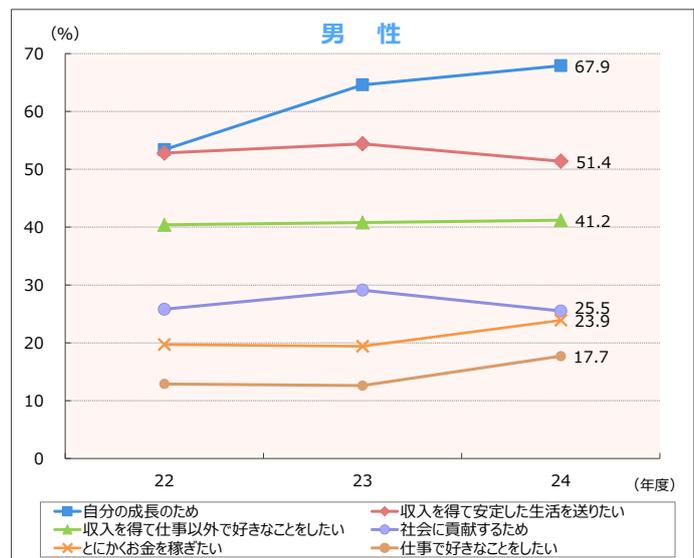
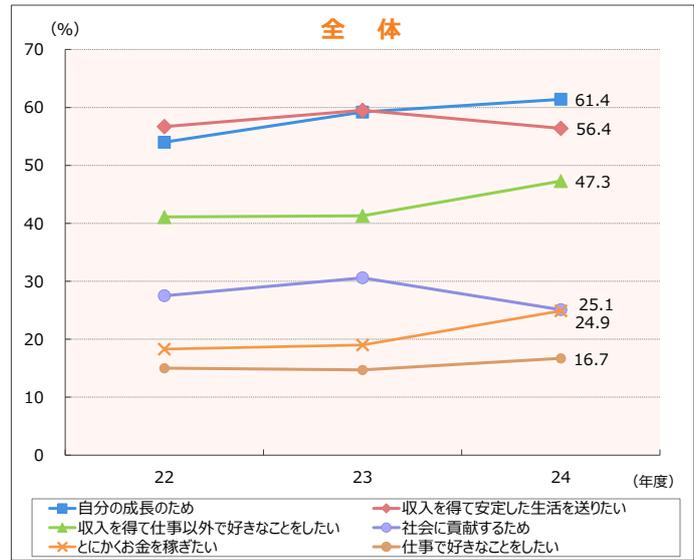
…「自分の成長のため」がトップ

「あなたが働く目的は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、1位は「自分の成長のため」(61.4%)、2位は「収入を得て安定した生活を送りたい」(56.4%)、3位は「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(47.3%)となった(図表6)。

男女別に見ると、男性は「自分の成長のため」(67.9%)が最も高く、次いで「収入を得て安定した生活を送りたい」(51.4%)、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(41.2%)となった。「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から13.7ポイント上昇し、2位となった。男性と比べると、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は14.3ポイント、「収入を得て安定した生活を送りたい」は11.4ポイント上回っている。

女性は「収入を得て安定した生活を送りたい」(62.8%)が最も高く、次いで「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」(55.5%)、「自分の成長のため」(52.4%)となった。「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は前回から13.7ポイント上昇し、2位となった。男性と比べると、「収入を得て仕事以外で好きなことをしたい」は14.3ポイント、「収入を得て安定した生活を送りたい」は11.4ポイント上回っている。

働く目的(上位6項目)の推移



図表6 働く目的 ※複数回答

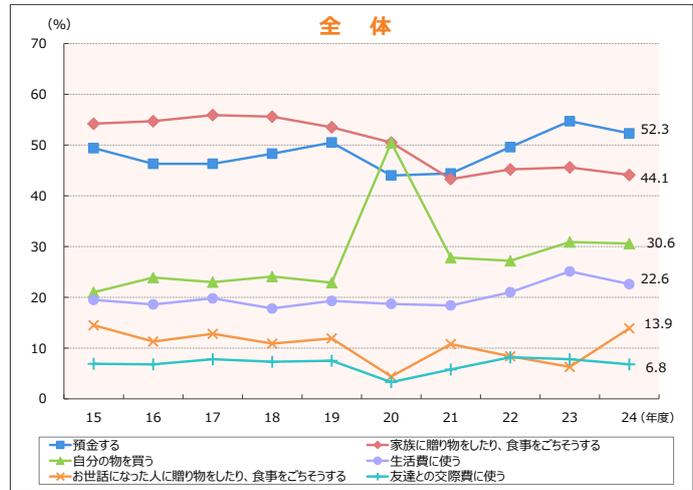
順位	項目	回答割合	前回差
1	自分の成長のため	61.4%	+2.2
2	収入を得て安定した生活を送りたい	56.4%	▲3.1
3	収入を得て仕事以外で好きなことをしたい	47.3%	+6.0
4	社会に貢献するため	25.1%	▲5.5
5	とにかくお金を稼ぎたい	24.9%	+5.9
6	仕事で好きなことをしたい	16.7%	+2.0
7	キャリアアップのため	15.3%	▲1.2
8	社会で活躍するため	11.9%	+0.8
9	高い地位を得るため	3.2%	▲1.1
10	その他	0.9%	▲2.1

(7) 初給与の使い道

…「預金する」がトップ

「初給与はどのように使いますか（2つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「預金する」（52.3%）、2位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」（44.1%）となった（図表7）。

図表7 初給与の使い道（上位6項目）※複数回答



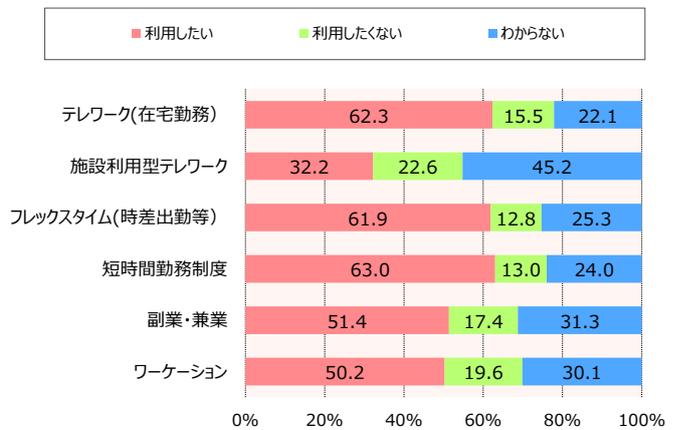
※2020年度は新型コロナの影響で例年に比し回答数が少ない

(8) 利用したい働き方

…女性の7割以上が「短時間勤務制度」・「在宅勤務」・「フレックスタイム」を利用したいと回答

利用したい働き方について尋ねたところ、「施設利用型テレワーク」を除く働き方について、半数以上が「利用したい」と回答した。「利用したい」の回答率が最も高いのは「短時間勤務制度」（63.0%）、次いで「テレワーク（在宅勤務）」（62.3%）だった（図表8）。

図表8 利用したい働き方



男女別に見ると、女性において、「テレワーク（在宅勤務）」では74.3%、「フレックスタイム（時差出勤等）」では72.8%、「短時間勤務制度」では80.1%が「利用したい」と回答しており、男性を上回っている。また、前回と比べると、「テレワーク（在宅勤務）」は+10.3ポイント、「フレックスタイム（時差出勤等）」は+14.1ポイント、「短時間勤務制度」は+14.5ポイント、「副業・兼業」は+11.6ポイント上昇しており、これらの働き方は特に女性において利用意欲が高まっている（図表9）。

図表9 「利用したい」の割合（男女別）

	全体			男性			女性		
	2023年度	2024年度	前回差	2023年度	2024年度	前回差	2023年度	2024年度	前回差
テレワーク(在宅勤務)	58.5	62.3	+3.8	53.4	52.3	▲1.1	64.0	74.3	+10.3
施設利用型テレワーク	30.6	32.2	+1.6	31.1	31.7	+0.6	30.2	31.9	+1.7
フレックスタイム(時差出勤等)	55.2	61.9	+6.7	51.9	53.1	+1.2	58.7	72.8	+14.1
短時間勤務制度	61.8	63.0	+1.2	58.3	49.8	▲8.5	65.6	80.1	+14.5
副業・兼業	43.5	51.4	+7.9	41.7	46.1	+4.4	45.5	57.1	+11.6
ワーケーション	46.8	50.2	+3.4	46.6	48.6	+2.0	47.1	51.8	+4.7

(9) 理想の上司

…「内村光良」が初の1位

今年度の新入社員に、「あなたの理想の上司とはどんなタイプですか。著名人・有名人に例えて1人だけお答え下さい(自由回答)」と尋ねたところ、全体ランキングではタレントの「内村光良」が、1997年度に理想の上司に関する調査を開始して以降、初めて1位となった。選んだ理由については、「優しそう」、「親しみやすそう」、「相手の意見や考え方に耳を傾けるというイメージがある」などの意見が寄せられ、男女問わず支持を集めた。

2位はメジャーリーガーの「大谷翔平」で、男性からの票が多かった。選んだ理由については、「実力も技術もあり、誰にでも優しく笑顔を絶やさないため」、「努力を惜しまない姿がかっこいい」などの意見が寄せられた。

男女別ランキングでは、男性が選んだトップ3は1位が「大谷翔平」、2位は「内村光良」となった。3位は漫画「ドラゴンボール」のキャラクター「フリーザ」で、男性ランキングにおいて初めてトップ3入りした。女性が選んだトップ3は1位が「水ト麻美」、2位が「内村光良」、3位は同率で「アンミカ」・「櫻井翔」となった。「アンミカ」は女性ランキングにおいて初めてトップ3入りした(図表10)。

(敬称略)

図表10 理想の上司(敬称略)

全 体	順位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	1	明石家さんま	明石家さんま	明石家さんま	水ト麻美	内村光良
2	イチロー	水ト麻美	天海祐希	大谷翔平	大谷翔平	
3	松岡修造	天海祐希	内村光良	明石家さんま	水ト麻美	
4	内村光良	内村光良	櫻井翔	内村光良	明石家さんま	
5	水ト麻美	イチロー	水ト麻美	天海祐希 志村けん	櫻井翔、志村けん フリーザ、ムロツヨシ	

男性 新入 社員	順位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	1	イチロー	明石家さんま	松本人志	志村けん	大谷翔平
2	明石家さんま	イチロー	明石家さんま	明石家さんま	内村光良	
3	松岡修造	阿部寛 松岡修造 松本人志	イチロー	大谷翔平	フリーザ	
4	内村光良		内村光良	内村光良	明石家さんま	
5	所ジョージ		志村けん	栗山英樹	志村けん ムロツヨシ	

女性 新入 社員	順位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	1	水ト麻美	水ト麻美	天海祐希	水ト麻美	水ト麻美
2	明石家さんま	天海祐希	水ト麻美	天海祐希	内村光良	
3	松岡修造	内村光良	明石家さんま	櫻井翔	アンミカ	
4	天海祐希	明石家さんま	内村光良	大谷翔平	櫻井翔	
5	内村光良	櫻井翔	櫻井翔	明石家さんま	天海祐希 渡辺直美	

(注) 網掛けは2024年度全体で回答率が高かった上位3位までの人。

2020年度については新型コロナウイルスの影響で回答数が少なかったため集計していない。

以上